

## 令和5年度 学校図書館基本計画・評価シート

足立区立東栗原小学校 校長 伊地知 広竹

## 1 学校教育目標

学ぶよろこび・・・様々な問題を解決するために多様な考えをもつ子  
きたえるよろこび・・・困難にもあきらめず、より高い目標に向かい努力し続ける心と体をもつ子  
ふれ合うよろこび・・・よりよい生活を目指して相手を尊重し、助け合う子

## 2 学校図書館の目標・ねらい 一身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度一

- ① 様々な取り組みを通して本の楽しさに触れ、読書に対する意欲を高め、日常的に本に親しむ態度を育てる。
- ② 学校図書館及び校内の図書に関わる環境を整え、読書量を増やす。
- ③ 多様な資料から目的に応じた情報を選んで調べ、まとめることができる能力を高める。

## 3 学校図書館の現状（令和4年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 9,549 冊（蔵書基準冊数 7,960 冊）／ 蔵書率 120%（前年度末 120%）									
	② 新規購入図書 570 冊 ／ 廃棄図書 630 冊 ／ 増減冊数 -60 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	1.3%	1.2%	6.8%	6.8%	11.4%	4.7%	2.7%	6.6%	2.8%	55.7%
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間：9：30～16：15									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 52.6 冊（前年度末：43.1 冊）									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 83.3%（前年度末：78.6%）									

## （令和5年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 9558 冊（蔵書基準冊数 7960 冊）／ 蔵書率 120.1%									
	② 新規購入図書 800 冊 ／ 廃棄図書 792 冊 ／ 増減冊数 8 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	1.3	1.2	6.8	6.7	11.7	5.0	2.8	7.1	2.6	54.8
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間：9：30～16：15（前年度からの変更 あり <b>なし</b> ）									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 58.3 冊（前年度末：52.6 冊）									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 93.6 %（前年度末：83.3 %）									

## 4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	① 読みやすい読み物に興味を持ち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ② 学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用する態度を育てる。	
今年度の成果目標		達成基準
① 学校図書館を使う授業により、本を手にする機会を増やす。 ② 学校図書館の本を利用し、読書量を増やす。 ③ 学校図書館の利用の仕方を知り、読書への興味をもたせる。		① 各クラス月2回以上、読書等の授業を学校図書館で行う。 ② 読書旬間や朝読書を利用して、年間に一人あたり100冊以上の本を読む。 ③ 学校図書館オリエンテーションを実施した学級100%。
目標達成状況	①各クラス月2回以上、学校図書館での授業を行った。 ②読書旬間を利用して、90%以上の児童が年間100冊以上の本を読むことができた。学校図書館オリエンテーションを100%の学級で実施した。	

<b>第2学年</b>	① いろいろな読み物に興味を持ち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ② 学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用しようとする態度を育てる。
<b>今年度の成果目標</b>	<b>達成基準</b>
① 自分の興味のある本を探して読書をし、その楽しさを知ることができる。 ② 学校図書館の利用の仕方を守って本を利用し、目標を意識して読書量を増やす。	① 各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 読書旬間や朝読書を利用して、年間に一人あたり100冊以上の本を読む。
<b>目標達成状況</b>	
① 各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行うことができた。 ② 読書旬間を利用して、80%以上の児童が年間に一人あたり100冊以上の本を読むことができた。	
<b>第3学年</b>	① いろいろな読み物に興味を持ち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、進んで学校図書館を利用する態度を養い、資料や情報を集めて活用できる力を育てる。
<b>今年度の成果目標</b>	<b>達成基準</b>
① 自分の興味を広げ、それに関連する本についても読書する意欲を育てる。 ② 学校図書館の利用の仕方を守って本を利用し、目標を意識して読書量を増やす。 ③ 学校図書館の本を利用し、辞典や図鑑等から分かったことをまとめることができる。	① 各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 読書旬間や朝読書を利用して、年間に一人あたり150冊以上の本を読む。 ③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が90%以上。
<b>目標達成状況</b>	
① 各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行うことができた。 ② 読書旬間を利用して、85%の児童が年間に一人あたり1000ページ以上の本を読むことができた。 ③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合は100%で、90%以上を達成した。	
<b>第4学年</b>	① いろいろな読み物に興味を持ち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、多様な資料や情報を収集・活用することができるようにする。
<b>今年度の成果目標</b>	<b>達成基準</b>
① 自分の興味のある本だけでなく、今まで興味のなかった本についても読書することができる。 ② 学校図書館の利用の仕方を守って本を利用し、目標を意識して読書量を増やす。 ③ 学校図書館の本を利用し、辞典や図鑑等で調べ、分かったことをまとめることができる。	① 各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 読書旬間や朝読書を利用して、年間一人あたり150冊以上の本を読む。 ③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が90%以上。
<b>目標達成状況</b>	
① 各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行うことができた。 ② 読書旬間を利用して、82%の児童が年間一人あたり1000ページ以上の本を読むことができた。 ③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が90%以上で、60%以上を達成した。	

<b>第5学年</b>	① 適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。
<b>今年度の成果目標</b>	
① 興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。 ② 学校図書館の利用の仕方を守って本を利用し、自ら進んで読書量を増やす。 ② 学校図書館の複数の本や新聞等で調べ、分かったことをまとめることができる。	<b>達成基準</b> ① 各クラス月1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 年間一人あたり150冊以上の本を読む。 ② 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が90%以上。
<b>目標達成状況</b>	
① 各クラス月1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行うことができた。 ② 85%の児童が年間一人あたり1500ページ以上の本を読むことができた。 ② 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が90%以上で、60%以上を達成した。	
<b>第6学年</b>	① 適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする態度を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。
<b>今年度の成果目標</b>	
① 興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。 ② 学校図書館の利用の仕方を守って本を利用し、より利用しやすい方法について考えることができる。 ② 学校図書館の複数の本や新聞等で調べ、分かったことをまとめ、伝えることができる。	<b>達成基準</b> ① 各クラス月1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 年間一人あたり150冊以上の本を読む。 ③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が90%以上。
<b>目標達成状況</b>	
① 各クラス月1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行うことができた。 ② 72%の児童が、年間一人あたり1500ページ以上の本を読むことができた。 ② 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合は90%以上で、60%以上を達成した。	

## 5 学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果

<b>取組計画・方針</b>	<b>成果・効果</b>
<b>【蔵書・配架等に関すること】</b> ① 調べ学習の蔵書を充実させる。 ② 廃棄図書について計画的に進め、必要な本を分かりやすく配架できるようにする。	① 調べ学習に関する蔵書を充実させた。 ② 廃棄図書について計画的に進め、必要な本を分かりやすく配架できるようにする。
<b>【学校図書館支援員との連携・協働】</b> ① 学校図書館オリエンテーションの実施やブックトーク等、支援員の積極的な連携・協働に取り組む。 ② 調べ学習をはじめ、授業に必要な教材や資料について積極的に支援員への相談や情報交換を行う。 ③ 学校図書館支援員やボランティアとの連携を深め、明るく楽しい学校図書館づくりを実践する。	① 学校図書館オリエンテーションの実施やブックトーク等、支援員の積極的な連携・協働に取り組むことができた。 ② 調べ学習をはじめ、授業に必要な教材や資料について積極的に支援員への相談や情報交換を行うことができた。 ③ 学校図書館支援員やボランティアとの連携を深め、明るく楽しい学校図書館づくりを実践することができた。
<b>【その他】</b> ① 昼休みと雨の日の中休みの貸し出しを可能とし、図書館に来る機会を増やす。 ② 夏休みや冬休みは貸出冊数を5冊まで、読書旬間では3冊までとし、読書量を増やす。	① 昼休みの貸し出し、雨の日の中休みの貸し出しを可能とし、図書館に来る機会を増やすことができた。 ② 夏休みや冬休みは貸し出し冊数を5冊とし、読書量を増やすことができた。

## 6 学校図書館運営全体に関する自己評価（成果・課題・改善の方向性等）

- ・休み時間の開館時間を増やすことにより、休み時間に図書館を利用する児童が増えた。
- ・読書旬間に合わせて、貸し出し可能冊数を増やしたり、読み聞かせ等を行ったりすることで、児童が本に触れるきっかけを増やすことができた。
- ・学校図書支援員との連携により展示の充実や書架の場所の見直などの工夫により、児童の読書活動を推進することができた。
- ・調べる学習コンクールについては、今後指導内容の系統を見直すことが課題である。授業での調べ学習を充実させるために、児童が資料を探しやすい書架づくりや、学校図書館支援員によるレファレンスの充実などに取り組んでいく。

## 7 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（学校関係者から）

学校評価・保護者アンケート「お子さんは1ヶ月に2冊以上本を読んでいる」に対する肯定的な回答が50%以上であった。